

ごみをめぐる現状 についてお知らせします

本市のごみをめぐる現状をお知らせします。ぜひ、ご一読いただき理解を深めていただくとともに、「循環型社会の形成」に向けて、ごみの減量化と分別への更なるご協力をお願いします。

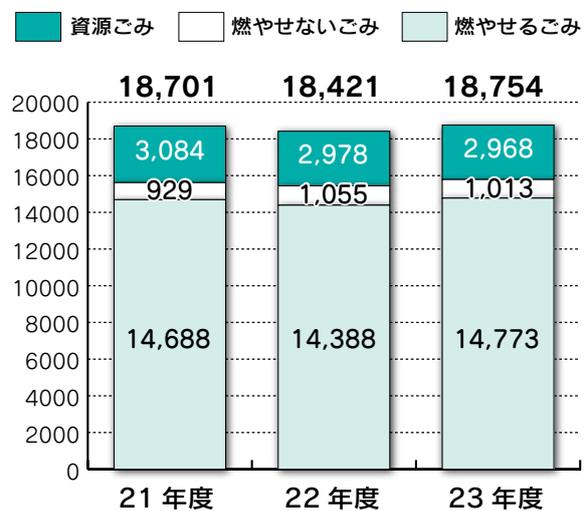
◎問い合わせ先 環境施設整備室 (☎ 82-1147)

家庭ごみの排出量

平成21年度から23年度までの家庭から排出されたごみの量は、[図1]のとおりです。23年度の排出量は22年度と比べて333トン(約1.8%)、21年度と比べて53トン(約0.3%)増加しています。また、<表1>から人口は年々減少していることがわかります。ごみの年間排出量を1人当たりでみると、21年度281kg、22年度278kg、23年度285kgで、1日に換算すると21年度770g、22年度762g、23年度781gとなり、ここ3年では平成23年度が最も多くなっています。これは、平成21年、平成22年7月に起こった水害により、大量のごみが排出されたことで、平成21年度から23年度の排出量の増減に影響が出ていると考えられます。

なお、ここに挙げている排出量は市が通常収集したもののみです。

[図1] 家庭ごみの排出量の推移 (単位: トン)



<表1> 人口の推移 (単位: 人)

平成21年度	平成22年度	平成23年度
66,442	66,157	65,740



「3R」とは右の3つをさし、これは環境問題を考えていくうえで、ごみと資源に関わる問題を解決する“キーワード”と言われています。まずは、身近なことから実践してみましょう!

リデュース REDUCE (発生抑制)

- ◎ 無駄な買い物をしていないか、普段の買い物を見直す
- ◎ マイバックやはしを持参するなど



リユース REUSE (再使用)

- ◎ 修理して長く使う
- ◎ 物を繰り返し大切に使う工夫を考える
- ◎ フリーマーケットなどを利用するなど



リサイクル RECYCLE (再生利用)

- ◎ 正しく分別して、回収場所にだす
- ◎ 地域の集団回収など色々なリサイクル活動に参加するなど

